

会 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度第1回弘前市文化芸術推進審議会
開 催 年 月 日	令和2年12月23日(水)
開始・終了時刻	10時00分から11時40分まで
開 催 場 所	弘前市役所 市民防災館3階 防災会議室
議長等の氏名	小川 幸裕
出 席 者	会長 小川 幸裕、 委員 東海 孝尚、 委員 鈴木 雅博 委員 鴻野 孝典、 委員 佐藤 寿子、 委員 大川 誠 委員 武田 孝三、 委員 島田 之恵
欠 席 者	会長職務代理 杉山 祐子
事務局職員の 職 氏 名	弘前市長 櫻田 宏 観光部長 岩崎 隆 文化振興課長 野呂 智子 同課長補佐 安田 広記 同主幹 金川 浩人 同主事 齋藤 翔太
会 議 の 議 題	①弘前市文化芸術振興計画の策定について ②計画策定に向けた文化芸術活動に関するアンケート調査の実施について(市民向け、団体向け)
会 議 結 果	下記会議内容に記載のとおり
会議資料の名称	・資料1-1 弘前市文化芸術振興計画の策定について ・資料1-2 文化芸術基本法(抜粋) ・資料1-3 弘前市文化芸術振興計画策定に係る意見交換会 意見集 ・資料2-1 文化芸術に関するアンケート調査の概要について ・資料2-2 弘前市の文化芸術振興に関する市民アンケート調査 ・資料2-3 弘前市の文化芸術振興に関する文化芸術団体アンケート調査
会 議 内 容 (発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等)	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 市長あいさつ 4. 会長の選出 小川 幸裕委員を会長にとの推薦があり、全会一致で決定。 小川会長より、会長職務代理者として、杉山 祐子委員を指名。

	<p>5. 議事</p> <p>議題1 弘前市文化芸術振興計画の策定について</p> <p>(事務局)</p> <p>資料1に基づき、計画策定の趣旨や計画の期間、文化芸術の範囲、文化芸術を取り巻く課題の整理、策定までのスケジュール等について説明。</p> <p>(議長)</p> <p>先般行われた文化芸術団体との意見交換会では、計画策定において数値目標を掲げないと、計画達成度合いの評価がしにくいのではとのご指摘もいただいている。</p> <p>多様な課題がある中で、どの課題をメインに取り上げるか議論があるかと思うが、高齢化・会員の減少・後継者不足が中心的な課題となると思う。その中で、どういった周辺課題を設定していくかだが、地域特性や現状の各文化芸術団体の活動の背景や課題と連動していくことになると思う。</p> <p>このことについては、今後検討を重ねていく必要があると思う。</p> <p>議題2 計画策定に向けた文化芸術活動に関するアンケート調査の実施について（市民向け、団体向け）</p> <p>(事務局)</p> <p>資料2に基づき、弘前市の文化芸術振興に関する市民向け・団体向けアンケート実施の趣旨、概要、調査票案を説明。</p> <p>(委員)</p> <p>調査票が厚い。市民アンケートは、14ページで29の設問。減らせないか。</p> <p>例えば、似たような選択肢については、それを別紙としてまとめることで紙面が減ると思われる。アンケートの内容の構成を考えたほうがいいのではないか。</p> <p>→ (議長)</p> <p>今回は各委員に素案を提示して設問を少なくしていく段階。ご指摘いただきありがとうございます。</p> <p>(委員)</p> <p>自分が一番知りたいことや大事なことに関する設問を最初に持ってきて、属性など事務的な質問は後ろにしたほうがいいのではないか。</p> <p>例えば、最初に持ってくる設問として、『弘前市は文化都市と呼べる</p>
--	--

状況にあると思うか?』、あるいは『弘前市の文化芸術関係の施策をどの程度知っているか?』という認知度、『これまで実施してきた文化芸術の施策についてどのような評価か?』など。

今まで市がやってきたことに対して、市民がどう思っているのか、どういった感想を持っているのかを聞く設問を加えていただきたい。

(委員)

市民向けアンケート問2の『就労形態』という表現は適切か。『就労形態』は、例えば正社員や非正規社員、パートといった雇用形態を伺うものであって職業を聞くものではないのではないか。

また、『教員』と書かれた選択肢が2つ存在している。『専業主婦』、『無職』はどちらを選べばいいのか迷う。

(委員)

市民向けアンケート問7、団体向けアンケート問6・問8に『令和元年の1年間』という表記があるが、これはコロナの影響を考慮してのことか。

→ **(事務局)**

そのとおりです。令和2年度はコロナの影響で開催自粛されたイベントや活動自粛された団体も多いと思うので、あえて『令和元年の1年間』と表現しています。

(委員)

令和3年の発送となれば、前年度のこと、令和2年度の状況として勘違いしかねない。

どこかに『令和元年の状況についてお尋ねします』と一言入れてもいいのではないか。

→ **(議長)**

『令和元年の状況についてお尋ねします』と追記することで対応できる。

(委員)

「似たような選択肢を別紙にまとめるのはどうか」という意見があったが、むしろ二度手間になるのではないのか。

→ **(議長)**

文中がいいのか、別紙がいいのか、2パターン作って検討してみたら判断しやすいのではないのか。

	<p>(委員)</p> <p>市民向けアンケート問7・問10・問14・問18(2)、団体向けアンケート問4の選択肢の中で、『津軽の・・・』と記載しているところがあったりなかったりする。統一したほうがいいのではないか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>表記の違いについては、全国的な文化芸術と津軽地域の文化芸術のどちらに興味関心があるか分けて集計したいので、『日本の・・・』『津軽の・・・』の文言として選択肢を分けました。</p> <p>(委員)</p> <p>津軽の文化芸術も日本の文化芸術に含まれると感じる人もいるので、『津軽の・・・』にこだわる必要性がないのであれば、広くとらえてはどうか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>選択肢を狭めるような捉え方をされないように、選択肢の表記を調整させていただきます。</p> <p>(委員)</p> <p>団体向けアンケートについて、市で活動する団体の構成員には市外の方もいる。</p> <p>『あなたの団体の構成員に弘前市以外の方がいるか?』『どれくらいの割合を占めるか?』という設問を増やしてはどうか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>設問の追加を検討させていただきます。</p> <p>(議長)</p> <p>計画を策定してどれくらいの頻度で評価するかということが課題となるが、アンケート結果との比較対象がなければ評価が難しいと思う。</p> <p>文化庁で実施したアンケートがあるので、これと連動し、全国の状況と比べ弘前市がどういう状況にあるのかを勘案して数値目標を立てていけばいいのではないか。</p> <p>(議長)</p> <p>文化庁アンケートでは寄付に対する項目がある。国は各文化芸術団体がどれくらいの寄付を受けているのかなどに注目しているらしい。</p> <p>このことについて事務局としてはどうか?</p>
--	--

→ (事務局)

団体向けアンケート問7で活動経費についての設問があり、その中で活動費を得る手段の1つとして『寄付金やスポンサー料』を設けています。

寄付金とスポンサー料の選択肢を分けることで対応は可能と思いますので、調整させていただきます。

(委員)

市民向けアンケートと団体向けアンケートで、選択肢の例示内容が統一されていないところがある。例えば市民向けアンケートではコーラスグループ、団体向けアンケートでは歌唱。

→ (事務局)

統一します。

(委員)

合唱団、コーラスグループは同義語。ただ、最近ゴスペルに限らず、アカペラという分野があたかもあるように活動している団体があり、マスコミもそう取り上げているので、その分野は合唱という言葉になじまないということで整理したのであれば、わからないでもない。

(議長)

表記は見る方によって感じ方が異なるので、誰しものが納得いくものにするのは難しいが、誤解を招く表記やより趣旨を理解できる表記があればご意見をいただきたい。

(委員)

市民向けアンケート問7・問10・問14、団体向けアンケート問4の選択肢の例示内容には、交響楽団、ピアノ、ジャスのあとにハーブが出てくる、吹奏楽がないなど偏りがある。

また、選択肢に演奏会や公演、コンサートとあるが、その違いは何か。

→ (事務局)

地域の演奏家等によるイベントは演奏会や公演に、全国的に有名な歌手はコンサートに表現を分けることで、どちらの分野に興味関心があるか分けて集計できるようにしました。

また、演奏会と公演の違いについては、楽器を使用するものと歌唱す

	<p>るもので分けてました。</p> <p>→ (議長)</p> <p>あらためて選択肢を見ると、音楽は3つに分かれており、ほかの分野は1つに集約されている。いったん選択肢自体は3つに分けたまま、指摘いただいた点を修正したうえで、選択肢を1つに集約すべきか検討したい。</p> <p>(委員)</p> <p>交響楽団という表現について、オーケストラ、アンサンブルもあるので、交響楽団という言葉避けて、『オーケストラ、アンサンブル、吹奏楽など』としてはどうか。</p> <p>→ (事務局)</p> <p>そのように修正します。</p> <p>(委員)</p> <p>選択肢の例示内容に工芸だけがあるとわかりやすいが、陶芸が別であるのは少し違和感がある。工芸は陶芸も含み幅広く包括する。陶芸に取り組む人がどれくらいいるかは気になるが、具体的なものを増やせば増やすだけきりが無い。陶芸はなくても、工芸と広くとらえておけば足りると思う。</p> <p>(事務局)</p> <p>本日はさまざまなお意見、ありがとうございました。この後いただいたご意見を踏まえて修正・追加し、会長に内容を確認したうえで、アンケートを実施したいと思います。</p> <p>6. 閉会</p>
その他必要事項	傍聴者：報道機関 2名